



2022年8月10日

各 位

上場会社名 グリーンランドリゾート株式会社
代 表 者 代表取締役社長 江里口 俊文
(コード番号9656)
問合せ先責任者 取締役経営管理室長 佐伯 賢二
(TEL 0968-66-2111)

連結業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月11日に公表いたしました2022年12月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、下記のとおり、2022年6月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を決議するとともに、2022年12月期の期末配当予想についても下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2022年12月期通期連結業績予想数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,800	250	260	180	17.41
今回修正予想(B)	4,900	400	450	250	24.18
増減額(B-A)	100	150	190	70	—
増減率(%)	2.1	60.0	73.1	38.9	—
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	5,754	34	202	△1,477	△142.89

※当連結会計年度の期首から、「収益認識に関する会計基準」を適用しております。前期実績値は適用前の数値になります。

(2) 修正の理由

当第2四半期連結会計期間においては、まん延防止等重点措置の全面解除等の行動制限の緩和が追い風となり、特に遊園地事業における利用者数が大幅に増加したこと等により、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が当初の想定を上回る見込みとなりました。

第3四半期以降においては新型コロナウイルス感染症の感染急拡大による影響が不透明な状況であり、一定程度はその影響を受けるものの、通期においては当初の想定を上回ることが予想されるため、前回予想より上記のとおり修正いたします。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正

（1）剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年5月11日公表)	前期実績 (2021年12月期 中間)
基準日	2022年6月30日	同左	2021年6月30日
1株当たり配当金	3円00銭 普通配当3円00銭	2円00銭 普通配当2円00銭	2円00銭 普通配当2円00銭
配当金総額	31,012千円	—	20,674千円
効力発生日	2022年9月12日	—	2021年9月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）期末配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2022年5月11日)	2円00銭 普通配当2円00銭	4円00銭 普通配当4円00銭	6円00銭 普通配当6円00銭
今回予想	3円00銭 普通配当3円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭	8円00銭 普通配当8円00銭
当期実績	3円00銭 普通配当3円00銭	2円00銭	4円00銭
前期実績 (2021年12月期)	2円00銭	2円00銭	4円00銭

（3）剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正の理由

当社は、株主の皆様への配当を経営における最重要課題の一つと位置付けており、業績に応じた配当を行うことを方針としています。

上記の方針及び第2四半期連結累計期間の業績が、堅調に推移することが見込まれること等に基づき、中間配当については従来予想の1株あたり2円から1株あたり3円とすることといたします。

また、通期の連結業績予想も上記連結業績予想の修正のとおり、当初の想定より好調に推移することが予測されることから、期末配当予想につきましても従来予想の1株あたり4円から1株あたり5円へ修正することといたします。

これにより、年間の配当予想は1株あたり8円となります。

（注）上記業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績及び配当は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上